

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アートチャイルドケア志木	種別：	保育所
代表者氏名：	小山 文子	定員(利用人数)：	60 名
所在地：	〒 353-0007 埼玉県志木市柏町1-6-71	TEL	048-485-0123

③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>○食への興味関心が広がる活動が豊かに展開されている 食育の年間計画が栄養士により作成されている。毎月様々な食に関わる活動がクッキングとして計画され、野菜の苗植えから収穫してサラダ作りなど継続した活動になっていたり、乳児は梅干し作り、幼児は梅ジュース作りと年齢に応じた活動内容になっている。これらの活動は写真に撮り今日の活動として玄関前に掲示され保護者に伝えられている。食材の購入は地域の物を購入するようにし、その食材を三大栄養素に分け、給食のサンプルの展示する近くに表示し、バランスの取れた内容になっているかがわかるようになっている。日常的に栄養士が保育室を巡回し、食材の説明をしたり、行事食のいわれを伝える等、目の前で食べている給食に興味や関心が向く働きかけが行われている。</p> <p>○園長・主任の連携、リーダーシップを活かした園運営が進められ、研修の成果が職員間で共有されている 園長と主任の連携を活かし、リーダーシップの取れた保育園運営が進められている。個人面談だけではなく、職員からの相談や保育に関する質問などに丁寧に対応していることが職員調査結果からも窺える。職員間での良いコミュニケーションの関係が活かされ、保育活動の一連の流れにつながっている。また、園長の外部研修成果が園内研修に活かされ、「人権侵害」「児童虐待」などのテーマで職員間での共有・共通認識化につながっている。</p> <p>○保護者に子どもたちの様子や保育活動の内容を写真などを交えて伝え、理解と協力につなげている 保護者に向けて園での保育活動の内容や様子を分かりやすく伝える工夫がなされており、週の指導計画を掲示したり、保育の内容を整理して保護者に向けて伝えている。また、写真をうまく活用して一日の子どもたちの様子を伝えたり、食育活動の様子を写真を使って玄関前に掲示し、給食だよりに子どもの人気メニューの作り方を載せて保育園での取り組みを知ってもらい、理解し協力してもらえるように努めている。</p>

◇特にコメントを要する点

○豊かな保育環境を活かした子どもの自主性や主体性につながる遊びの工夫を期待したい
 子どもの安全性に配慮したカーブのある棚や子どもの心をワクワクさせるロフトやネット遊具、階段下の空間など、子どもの遊び心を揺さぶる環境が用意されている。建物の構造上のため保育室に柱があり保育しづらいと感じる要素はあるが、それらを活かした遊びのコーナーを常設するなど保育室内の環境づくりや階段下やロフトに置く遊具の検討など、絵本や遊具の充実や工夫で子どもが遊びたくなる環境のさらなる工夫や検討を期待したい。

○子育て家庭に向けた支援活動をさらに進め、専門性を活かした取り組みや普段の保育活動の延長線上の取り組みなども検討されたい
 子育て講座としてコモンセンスペアレンティングをテーマに、保護者及び近隣の子育て家庭を対象に実施しており、今後は保育園の専門性を活かして、身近な子育ての質問や相談を受ける場、看護師・栄養士などの専門性を活かした感染症対応や離乳食の作り方、食育への取り組みなどの講座を行い、地域の子育て家庭支援につながる活動も検討されたい。また、散歩の際に公園で遊ぶ地域の子どもたちに紙芝居や本の読み聞かせ、在園児と一緒に遊ぶなどの出前保育的な取り組みを行うなど、普段の保育活動を活かした子育て支援活動の検討も進められたい。

○園の抱える課題や保育活動の方向性を考慮し、将来像を見据えた中期計画の策定を検討されたい
 園長・主任の指導力・統率力などが発揮され組織体制が整備され、本社担当との連携を活かした取り組みが進められている。園長と職員のとまりで保護者からの苦情等もなく保育を進めてきており、職員間の一体感を活かして園の将来像を見据えた3年程度の中期計画の策定を検討されたい。本社の5ヵ年の経営方針を受けて、全職員間で協議を行い、園が抱える課題やより具体的な保育活動の進め方などを考慮して、園舎の室内空間を活かした保育への取り組みやおもちゃの整備や提供の仕方、保育に関する情報の見せ方のさらなる工夫、リーダー層などの人材育成など、具体的な取り組み・達成目標を盛り込んだものを期待したい。職員各自の保育への思いがさらなる子どもたちの楽しい保育園生活につながることを望まれる。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

お忙しい中、ご利用者様アンケートにご協力いただきありがとうございました。
 開園三年目で初めて第三者評価を受審しました。日頃の保育や園の運営に対し、利用者の方々や職員の思いを知る良い機会でした。評価の高かった食育、職員間のコミュニケーション、日中の活動の周知の方法等は引き続き工夫をしていこうと思います。今後は、子ども心をワクワクさせる他園とは違った保育環境を十分に生かせるコーナーの設置や保育内容を検討していきたいと考えます。また、園の将来像を見据えた中期計画の策定を実施したいと思います。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果
 別紙